

用語解説

※【 】横のページは、用いられているすべてのページを表記しています。

数字・アルファベット順

【1人1台端末】 31ページ

国が示す「GIGA スクール構想」に基づき整備した、児童生徒1人につき1台のICT端末（タブレットPC等）のこと。

【AI】 5、142ページ

Artificial Intelligence（アーティフィシャル・インテリジェンス）の略。人間にしかできなかったような高度に知的な作業や判断を、コンピュータを中心とする人工的なシステムにより行えるようにした人工知能のこと。

【DV】 24、25ページ

Domestic Violence（ドメスティック・バイオレンス）の略。夫婦、恋人等の親密な関係にある人またはあった人からの身体的、心理的、性的または経済的な苦痛を与える暴力的な行為、その他心身に有害な影響を及ぼす発言または行動のこと。

【DX】 5、11、176、177ページ

Digital Transformation（デジタル・トランスフォーメーション）の略。「Transformation」は「X-formation」とも表記されるため、この頭文字のXから、「DX」と略したもの。DXの定義は様々であるが、本計画では「ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること」を指す。

【ESD】 29ページ

Education for Sustainable Development（エデュケーション・フォー・サステナブル・デベロップメント。持続可能な開発のための教育）の略で、SDGsの実現に向けた教育のこと。本市では「スクールESDくさつプロジェクト」として、様々な地域課題を体験的な学びを通して、その解決に子どもたちが主体的に関わり、地域社会の一員としての意識と行動力を身につけることを目指している。

【ICT】 108ページ

Information and Communication Technology（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）の略。コンピュータ情報通信ネットワーク（インターネット等）の情報通信技術を表す言葉。

【MICE】 144ページ

MICEとは、会議（Meeting）、報奨・研修旅行（Incentive travel/tour）、国際会議（Convention）、展示会・博覧会といったエキシビションやイベント（Exhibition/Event）を総称した用語。MICEには開催地における高い経済波及効果やビジネス機会・イノベーションの創出、都市ブランド・競争力の向上等が期待されている。

【SNS】 48、144ページ

Social Networking Service（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の略で、インターネット上の交流を構築するサービスのこと。

【Society 5.0】 5、28、142ページ

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society（ソサエティ））のこと。狩猟社会（Society1.0）、農耕社会（Society2.0）、工業社会（Society3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指すもので、第5期科学技術基本計画において国が目指すべき未来社会の姿として初めて提唱。

50音順 ア行

【愛する地球のために約束する協定】

109ページ

深刻な地球温暖化問題に対応するために、市民、事業者、団体などの皆さんと協力して二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を削減することを目的に「愛する地球のために約束する草津市条例」を平成20年4月に施行、本条例に基づき、みなさんに自主的な地球温暖化対策の取組を約

束いただくための市長との協定のこと。
協定の締結により、令和3年12月に市と市議会が表明した「草津市気候非常事態（ゼロカーボンシティ）宣言」への賛同を示すことが可能。

【インキュベーション施設】

142、143ページ

創業後間もない企業や起業家に対し、低賃料スペースや、マーケティング支援などの経営ノウハウを提供し、その成長を促進させることを目的とした施設のこと。

【ウェルビーイング】 4、5、28、31、74ページ
身体的・精神的・社会的に良好な状態を表す概念のこと。詳細は4ページに記載。

【ウォーカブル】 152ページ

「ウォーカブル」とは、「歩く」を意味する「walk」と「できる」の「able」を組み合わせた造語で、「居心地が良く、歩きたくなる」都市の状態のこと。

令和2年に「安全なまちづくり」および「魅力的なまちづくり」の推進を柱とする「都市再生特別措置法等の一部を改正する法律」が施行され、全国の自治体において、「居心地が良く、歩きたくなる」まちづくりが広まりつつある。

【エリアマネジメント】 138、139ページ

地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための住民・事業主・地権者等による主体的な取組のこと。

50音順 カ行

【ガーデンシティ】 158ページ

ガーデンシティくさつ。市民・地域・企業等と行政の協働で、花と緑のある憩いの場をつくりだし、笑顔が行き交う都市を目指す、ガーデニングなどを手法としたまちづくりのこと。

【カーボン・ニュートラル】 11ページ

温室効果ガスの排出について、二酸化炭素をは

じめとする温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いてゼロとなっていること。

【家庭系ごみ・事業系ごみ】 110ページ

家庭系ごみは、家庭生活に伴って排出される一般廃棄物、事業系ごみは、事業活動に伴って発生する一般廃棄物のこと。

【環境マネジメントシステム】 106ページ

組織や事業者が、その運営や経営の中で自主的に環境保全に関する取組を進めるにあたり、環境に関する方針や目標を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくことを「環境管理」または「環境マネジメント」といい、このための工場や事業所内の体制・手続き等の仕組みを「環境マネジメントシステム」という。

なお、環境マネジメントシステムには、環境省が策定したエコアクション21や、国際規格のISO14001のほか、地方公共団体、NPOや中間法人等が策定したものがある。

【基礎的コミュニティ】 50、51ページ

町内会、自治会その他の地縁に基づいて形成された自治組織のこと。

【義務的経費】 4ページ

法令等により義務付けられている支出で、自治体が任意に削減することが困難な経費。主に社会保障関係経費や過去の借入金の返済金、職員人件費等のこと。

【行政のデジタル化・オンライン化】

5ページ

情報通信技術（デジタル技術）の活用により、行政手続等に係る関係者の利便性の向上や、行政運営の簡素化・効率化を図ること。

【共創】 166、167ページ

市民、民間企業・団体、大学をはじめとする多様な主体との協働を基本に、多様性を尊重しながら新たな価値や魅力を一緒に創り上げていくこと。

【協働的な学び】 28、31ページ

探究的な学習や体験活動などを通じ、こども同士で、あるいは地域の方々をはじめ多様な他者と協働しながら、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう、必要な資質・能力を育成するための学びのこと。

【クールビズ・ウォームビズ】 108ページ

クールビズは、地球温暖化対策の一環として、平成17年度から政府が提唱する、過度な冷房に頼らず軽装や日射の熱エネルギーを遮る効果があるグリーンカーテンなど様々な工夫をして夏を快適に過ごすライフスタイルのこと。ウォームビズは、冬期に厚着や体をあたためる食材を食べるなど暖房使用量を抑制し温室効果ガスの削減を図りながら快適に過ごすライフスタイルのこと。

【草津ブランド】 141ページ

市内の地域産業の活性化と市のイメージアップを図ることを目的に、平成26年に設立した「草津ブランド推進協議会」において「草津ブランド」として認証された、草津市内の魅力的な地域資源のこと。

令和7年3月現在では、農水産物、加工品、工芸品の計15品目を「草津ブランド」として認証している。

【ケアマネジメント】 83、86ページ

介護・介助が必要な人の生活支援を行うために、多様な社会資源を、その本人が有効に活用できるように図ること。

【健康格差】 64ページ

地域や社会経済状況の違いによる集団間の健康状態の差のこと。

本計画では性別や年齢、居住地、個人の背景等による健康状態の差をいう。

【健康寿命】 64、66、80ページ

平成12年にWHO（世界保健機構）が提唱した概念で、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと。

【健康推進員】 64ページ

一年間の養成講座を受講した後、市長から委嘱を受けて地域に密着した健康づくり活動を推進するボランティア組織のこと。

【校務DX】 31ページ

学校の仕事全体について、デジタル技術を活用してデータ連携による新たな学習指導・学校経営の高度化を目指す取組のこと。

【個別最適な学び】 31ページ

「指導の個別化」（一定の目標をすべての児童生徒が達成することを目指し、個々の児童生徒に応じた異なる方法などで学習を進めること）と「学習の個性化」（個々の児童生徒の興味・関心などに応じた異なる目標に向けて、学習を深め、広げること）を、学習者視点から整理した概念であり、児童生徒が自己調整しながら学習を進めていく学びのこと。

【コミュニティ・スクール】 31ページ

学校と保護者や地域の方々がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働してこどもの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進めていく仕組みのこと。

50音順 サ行

【再生可能エネルギー】 108、109ページ

太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱など、一度利用しても比較的短期間に再生が可能であり、資源が枯渇しないエネルギーのこと。

【産学官金の連携】 142、143ページ

企業（産）、大学などの研究機関（学）、自治体（官）および金融機関（金）が互いに協力し、連携し合って事業や研究活動を推進すること。

【事業継続計画（BCP）】 94ページ

企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のこと。

【自己有用感】 75ページ

自分と他者（集団や社会）との関係の中で、自分の存在を価値あるものとして受け止める感覚のこと。

【自主防災組織】 92、93ページ

自主的な防災活動を実施することを目的とし、町内会等の地域住民を単位として組織された任意団体のこと。

【自助・共助】 92ページ

「自助」は、一人ひとりが自ら取り組むこと。「共助」は、地域や身近にいる人同士が一緒に取り組むこと。

【児童発達支援センター】 77ページ

地域の中核的な役割を担う機関として、高度の専門的な知識および技術を必要とする児童発達支援の提供、家族、事業者その他関係者に対し、相談、専門的な助言その他の必要な援助を行うことを目的とする施設のこと。

【地場産物】 132、134、135ページ

地域で作られ収穫された食物のこと。

【市民公益活動】 52、53、164、165ページ

不特定多数のものの利益の増進に寄与することを目的とし、特定の課題解決に向けて自発的かつ自主的に行う営利を目的としない活動のこと。

【障害のある人】 86、87ページ

障害者基本法第2条第1号に定める障害者（身体障害、知的障害、精神障害（発達障害を含む。）

その他の心身の機能の障害がある者であって、障害および社会的障壁により継続的に日常生活または社会生活に相当な制限を受ける状態にあるものをいう。）のこと。

【新型コロナウイルス感染症】 110ページ

「コロナウイルス」（人や動物の間で広く感染症を引き起こすウイルス）として新たに見つかった「新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）」による感染症。令和元年末に中国で感染者が確認されて以降、世界各国で感染が拡大した。正式名称は「COVID-19」。

【スクールソーシャルワーカー】 31ページ

社会福祉や精神医学、心理学等の専門的な知識、技術を活用し、問題を抱えた児童生徒を取り巻く環境に働きかけ、家庭、学校、地域の関係機関をつなぎ、児童生徒の悩みや抱えている問題の解決に向けて、支援する専門家のこと。

【スクラップ&ビルド】 6ページ

施策の遂行にあたり、非効率な事業等を廃止し、新しい事業に置き換えることで、施策の効率化や集中化を再構築すること。

【ステークホルダー】 3ページ

企業、行政、NPO等の組織が活動を行うことで影響を受ける利害関係を有する者のこと。

【スマートシティ】 5ページ

スマートシティの定義は様々であるが、国の施策における定義では、グローバルな諸課題や都市や地域の抱えるローカルな諸課題の解決、また新たな価値の創出を目指して、ICT等の新技術や官民各種のデータを有効に活用した各種分野におけるマネジメント（計画、整備、管理・運営等）が行われ、社会、経済、環境の側面から、現在および将来にわたって、人々（住民、企業、訪問者）により良いサービスや生活の質を提供する都市または地域とされている。

【スマートドライブ】 108ページ

環境負荷の軽減に配慮した自動車の使用である「エコドライブ」の実践や、環境負荷の小さい自動車の利用のこと。

【生活習慣病】 64ページ

食事や運動、休養、喫煙、飲酒等の生活習慣が深く関与し、それらが発症の要因となる疾患の総称。日本人の死因の上位を占める、がんや心臓病、脳卒中は、生活習慣病に含まれる。

【成年後見制度】 87ページ

認知症高齢者、知的障害のある人、精神障害のある人等で判断能力が不十分な人を法律的に保護し、支えるための制度のこと。

【セーフティネット】 61ページ

地域社会において、憲法が保障する健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を守るための仕組みのこと。

【総合型地域スポーツクラブ】 37ページ

地域住民により自主的・自立的に運営され、人々が身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブのこと。

50音順 タ行

【脱炭素社会】 108、109ページ

温室効果ガスの人為的排出と吸収の均衡が達成された社会のこと。

【多文化共生社会】 54ページ

国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きている社会のこと。

【多面的な機能】 133ページ

国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承等、農村で農業生産活動が行われることにより生じる、食料その

他の農産物の供給の機能以外の多面にわたる機能のこと。

【男女共同参画社会】 24、25ページ

男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野での活動に参画する機会が確保されており、男女が均等に政治的、経済的、社会的および文化的利益を受けることができるとともに、男女がともに責任を担う社会のこと。

【地域共生社会】 58ページ

社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会のこと。

【地域協働合校】 34ページ

学校・家庭・地域の連携・協働により、それぞれの持つ教育機能を生かしながら、こどもと大人が地域文化や現代的な課題などについて社会全体で学びを進めること。

【地域力】 30、58、59ページ

地域社会が抱える多様な問題や支援を求める人たちの声に住民自らが気づき、主体的に関係する組織や行政等と協働し、地域資源の有効活用を図りながら、問題解決に向けた方策や地域としての価値を創造していく力のこと。

【着地型観光】 134、135、144ページ

旅行者を受け入れる側の地域（着地）側が、その地域でおすすめの観光資源を基にした旅行商品や体験プログラムを企画・運営する観光形態のこと。

【中間支援組織】 52、53、58、59ページ

まちづくりを活性化させるために組織が持つノウハウ、情報、ネットワーク等を活用し、まちづくりに取り組む各主体の活動を支援するなど、

市民と市民、市民と市などの間に立って、各主体の連携を促進するコーディネート役を担う組織のこと。本市では、中間支援組織として（公財）草津市コミュニティ事業団と（福）草津市社会福祉協議会を指定。

【長期優良住宅】 151ページ

長期にわたり良好な状態で使用するための措置が講じられた優良な住宅のこと。

【デコ活】 108ページ

二酸化炭素（CO₂）を減らす（DE）脱炭素（Decarbonization）と、環境に良いエコ（Eco）を含む“デコ”と活動・生活を組み合わせた言葉で、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動のこと。

【テレワーク】 146ページ

勤労形態の一種で、情報通信技術等を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のこと。

【特定健康診査・特定保健指導】

66、67ページ

平成20年4月から始まった40歳から74歳までの医療保険加入者を対象とし、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した生活習慣病を予防するための健康診査と保健指導のこと。

【都市再生推進法人】 138ページ

都市再生特別措置法に基づき、地域のまちづくりを担う法人として、市町村が指定するもの。市町村は、まちづくりの新たな担い手として行政の補完的機能を担い得る団体を指定することができ、本市では、都市再生推進法人として「草津まちづくり株式会社」を指定。

【土地改良施設】 133ページ

農業用排水施設、農業用道路、その他農業をするにあたり有益、または農村での生活を快適にする施設のこと。

50音順 ナ行

【軟弱野菜】 132ページ

植物体が軟弱で、外部からの衝撃で傷つきやすく、収穫物は軽量・小形で、常温下では日光にさらされたり風にあたると急速に鮮度を失い品質が低下する野菜のこと。ほうれん草や水菜、小松菜等がこれにあたる。

【農地の集積・集約】 132ページ

農地を所有し、または借り入れること等により、利用する農地面積を拡大し（集積）、農地の利用権を交換すること等により、農作業を連続的に支障なく行えるようにする（集約化）こと。

【ノーマライゼーション】 86ページ

障害のある人を含む社会的支援の必要なすべての人たちが、一人の人間として尊重され、そのあるがままの姿で他の人たちと同等の権利を享受できるようにするという考え方のこと。

50音順 ハ行

【ハザードマップ】 92ページ

災害が起きたときの浸水想定区域や土砂災害危険予想箇所をはじめ、地域で想定される危険箇所や避難所までの避難経路などの情報を地図上に表示したもの。

【非構造部材】 31ページ

柱、梁、床などの構造体ではなく、天井部材や外壁（外装材）など、構造体と区分された部材のこと。音響設備や照明といった設備機器や家具なども含めることがあり、本計画ではこれらも含める。

【ビッグデータ】 142ページ

ボリュームが膨大でかつ構造が複雑であるが、そのデータ間の関係性などを分析することで新たな価値を生み出す可能性のあるデータ群のこと。例えば、ソーシャルメディア内のテキストデータ・画像、携帯電話・スマートフォンが発

信する位置情報、時々刻々と生成されるセンサデータなどがある。

【ビワイチ推進条例】 144ページ

滋賀県が令和4年に施行した、自転車観光に特化した全国初の条例。「琵琶湖一周」の略称から始まったとされる「ビワイチ」を条例名にも取り入れ、滋賀が誇る観光資源であるビワイチの魅力を高め、県の観光の振興および活力ある地域社会の実現に寄与することを目的としている。

【プラットフォーム】 166ページ

本計画では、行政をはじめ、まちづくりの担い手となる多様な主体が集まり、まちの将来像を議論・共有し、その実現に向けた取組について協議・調整を行う場のこと。

50音順 マ行

【マイナポータル】 66ページ

マイナンバー制度の導入に併せて構築した、国民一人ひとりがアクセスできるポータルサイトのこと。具体的には、自己情報表示機能、情報提供等記録表示機能、プッシュ型サービス、ワンストップサービス等を提供する基盤であり、国民一人ひとりが様々な官民のオンラインサービスを利用できる。

【まちなか】 11、152ページ

本計画では JR 草津駅・南草津駅周辺の市街地のこと。「第6次草津市総合計画基本構想」の「将来のまちの構造」において、JR 草津駅・南草津駅を中心とする市街地を、誰もが楽しめる“都市部”として、にぎわいを創出するゾーンと位置付けており、その拠点となる JR 草津駅・南草津駅周辺を「まちなか」としている。

50音順 ヤ行

【やさしい日本語】 54ページ

難しい単語や用語、表現を使わずに外国人にも分かりやすく表現する日本語のこと。

【優良農地】 132ページ

農業的な土地利用を図る土地として、農業振興地域整備計画の中で位置付けた農用地のこと。

【ユネスコ無形文化遺産】 144ページ

「無形文化遺産」とは、芸能や伝統工芸技術などの形のない文化であって、土地の歴史や生活風習などと密接に関わっているもののこと。ユネスコの「無形文化遺産保護条約」では、この無形文化遺産を保護し、相互に尊重する機運を高めるため、登録制度を実施している。

令和4年に「近江湖南のサンヤレ踊り」を含む「風流（ふりゅう）踊」がユネスコ無形文化遺産に登録された。

50音順 ラ行

【ライフコースアプローチ】 64ページ

胎児期から高齢期に至るまでの人の生涯を経時的に捉えた健康づくりのこと。

【ライフステージ】 36、77ページ

人の一生を、年齢や社会的な役割に応じて、乳幼児期、青壮年期、高齢期等と分けた、それぞれの段階のこと。

【流域治水】 96ページ

気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、堤防の整備、ダムの建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、集水域（雨水が河川に流入する地域）から氾濫域（河川等の氾濫により浸水が想定される地域）にわたる流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う考え方。

【レガシー】 36ページ

スポーツイベント開催後に残される長期的・持続的効果のこと。本計画では、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポを契機として、市民が様々な形でスポーツに親しみ、関わり続けることをいう。

【ロボティクス】 5ページ

工学の一分野。制御工学を中心に、センサー技術・機械機構学などを総合して、ロボットの設計・製作および運転に関する研究を行う。

50音順 ワ行**【ワーク・ライフ・バランス】**

24、25、146ページ

仕事と生活の調和のこと。働いている人がそれぞれの能力や個性を十分に発揮でき、「仕事」も「生活」（家庭生活や地域生活など）も、ともに充実していると実感できること。